

徳島市中心部における道路照明の整備について

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所
令和8年3月24日

徳島市中心部における道路照明の整備について

今回、国土交通省として道路照明器具を更新等するエリアでは、徳島県において、県都とくしまにおける「居心地が良く、歩きたくなる」ウォークアブルな空間づくりを推進しており、空間を縦横断している国道において、対応可能なことは協力していききたいと考えています。

国道に関して様々な協力が想定されますが、今回は道路照明器具の更新（LED化）及び経年による外観の悪化や腐食が見受けられる照明柱の補修（再塗装による景観改善及び長寿命化）を計画しており、ご意見を伺いたいと思います。

※更新対象エリアは、添付資料1「徳島市中心部における道路照明の整備について」を参照ください。

（1）道路照明器具の更新について

1. 既設の道路照明器具について

徳島市中心部（国道192号他）における道路照明は設置後10年から30年程度経過しており、劣化が進んでいることと、現在使用されている高圧ナトリウムランプは生産終了となっており、速やかなLED照明器具への更新が必要となっています。

2. 周辺の道路照明器具の既設デザインについて

徳島駅周辺エリアでは、景観に配慮し、さまざまなデザインの道路照明器具が整備されており、既設デザインは大きく4タイプに分類されます。

タイプ	写真	詳細
笠	① ⑤	阿波踊りの笠がモチーフとなったデザイン
丸形	②	丸形形状のデザイン
角形	⑥⑦⑧	角形形状のデザイン
つり下げ	③ ④	アームからつり下げた形状のデザイン

※添付資料2「周辺の既設デザイン状況」を参照ください。

3. LED道路照明器具のデザインについて

周辺のデザイン器具の設置状況や製産可能な器具の条件から4タイプ比較しました。

※添付資料3「道路照明デザイン案比較表」を参照ください。

- ・景観、地域をイメージしやすいデザイン
- ・道路照明器具に必要な機能確保（明るさ、見え方）
- ・夜間において、歩行者等の歩きやすさに配慮

【地域のイメージ、整備コスト等を比較し、**阿波踊り笠タイプを採用予定**です。】


※器具の塗装色は後述します。

4. LED道路照明器具の光色について

道路照明の光色選定には、夜間において道路状況、交通状況を的確に把握するための良好な視環境（空間全体の見やすさ・快適さ）が確保できる必要があります。

LED道路照明では、一般的に昼白色（白色）が採用されています。

<昼白色の特徴>

色種	昼白色(白色)
サンプル	
色の特徴	日中の太陽光に近い色。 馴染み深く、自然な明るさ。
適用空間	活発に活動したい空間に適する。道路照明で主に使用

<更新後の状況>



※道路照明の光色について、各種文献では以下の内容が記載されています。

- ・光源は光色と演色性が適切であること：「道路照明設置基準」
- ・白色LEDは歩行者や障害物の視認性が向上する：「日本照明学会誌」
- ・白色LEDは演色性が高く、視認性・安全性の向上に寄与：

「LED道路・トンネル照明導入ガイドライン（案）」

【空間全体の見やすさ、快適さから、**昼白色（白色）を採用予定**です。】

（参考）

道路照明で一般的に使用されている昼白色（白色）は日中の太陽光に近い色で、道路付属物や道路上の障害物も識別しやすいです。

また、既設の高圧ナトリウムランプに比べて消費電力が少なく寿命も長いことから、省エネ化となります。※省エネ化：消費電力は約50%、寿命も2倍以上

<現状の国道192号>



写真：国道192号 元町～八百屋町

<更新後のイメージ>



写真：国道192号 佐古5番町

(2) 道路照明器具及び照明柱補修の塗装色について

1. 直轄国道における既設照明柱の使用材料について

今回対象エリアの照明柱については、昭和 62 年度から順次整備しており、国道 192 号における照明柱は、下記理由により耐候性鋼材が採用されています。

- ・耐腐食性 : 表面に錆が形成されることで内部金属がさびにくくなる
- ・維持管理費削減 : 通常の鋼材より、耐用年数が長い(長寿命化)

しかし、耐候性鋼材には均一な色調維持が難しいという課題、鋼材が高騰したことから、国道 11 号、国道 55 号で整備された照明柱は、低コストである一般的な鋼材(SS400 や STK400) が採用され、現在はこれらが主流となっています。

2. 既設照明柱の状態について

国道 192 号 : 照明柱の表面に均一な錆が形成されていないため色調がまばらな状態
(現在は耐候性鋼材用の上塗り塗料が開発されています。)

国道 11、55 号 : 外観状態は良好であり、早急な対策は必要性ない。
※添付資料 4 (国道 192 号等の照明柱腐食状況) を参照ください。

3. 周辺における既設照明柱等の塗装色について

徳島市中心部周辺の既設照明柱等に使用されている塗装色で多いのはダークブラウン、焦げ茶です。また、青、白、緑といった色も見られます。

※添付資料 5 (徳島市中心部周辺の塗装色について) を参照ください。

4. 補修に使用する塗装色について

経年による外観の悪化や腐食が見受けられる国道 192 号の道路照明器具及び照明柱から、器具更新及び柱補修を順次(元町交差点から)実施する予定です。

再塗装等による景観改善及び長寿命化を実施するにあたり、塗装色を選択することができるため、徳島県が推進する空間作りに合致する塗装色を選択できます。

既に周辺で多く使用されているダークブラウン・焦げ茶に加えて、徳島県の伝統的な藍染めの色である阿波藍(※周辺でも青がある)を含めた 3 色を候補として、各色の特徴を右表で比較しました。

＜補修に使用する塗装色の比較表＞

	ダークブラウン	焦げ茶	阿波藍
色のサンプル			
色の特徴	黒に近い濃い茶色。落ち着いた重厚感がある。人によっては暗い印象	ダークブラウンよりやや赤み・温かみを感じる深い茶色。圧迫感少ない	深みのある青でありながら暗さがなく鮮やかで輝くような色合い。落ち着いた安心感
印象・心理効果	安定・安心・渋さ・高級感	温かさ・親しみ・安心感	清涼感・自然観・伝統的で上品
街並みとの相性	自然や緑地、歴史的街並みに非常に馴染む。背景化しやすい	住宅街・商店街・公園など柔らかい景観と調和	水辺・歴史文化地区・伝統的街並みと非常に良い相性
視認性	控えめ	適度な存在感	良好
汚れ・劣化の目立ちにくさ	かなり目立ちにくい	目立ちにくい。劣化は比較的緩やか	白化や汚れがやや目立つが退色には強め
照明柱への適用による雰囲気	重厚で景観の背景として有効	柔らかく街に馴染みやすい	伝統と清涼のバランスがよく文化観光エリアに適する

【地域のイメージや景観等の比較から、**阿波藍**を採用予定です。】

【既設】
・ナトリウム道路照明



【更新後】
・LED道路照明に更新



ナトリウム

22台



ナトリウム

75台

**LED道路照明
更新台数:165台**



ナトリウム

25台



ナトリウム

27台



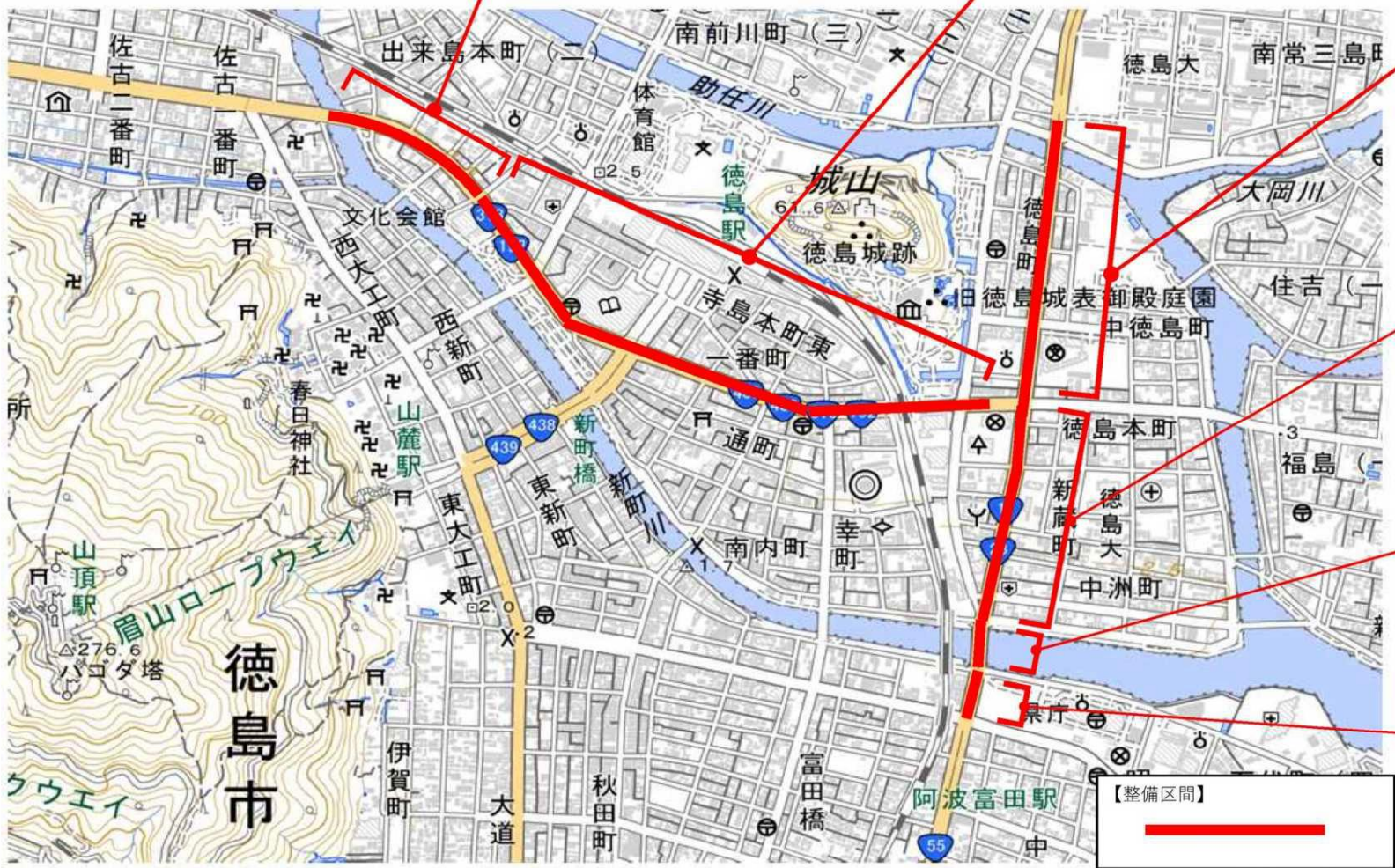
ナトリウム

8台



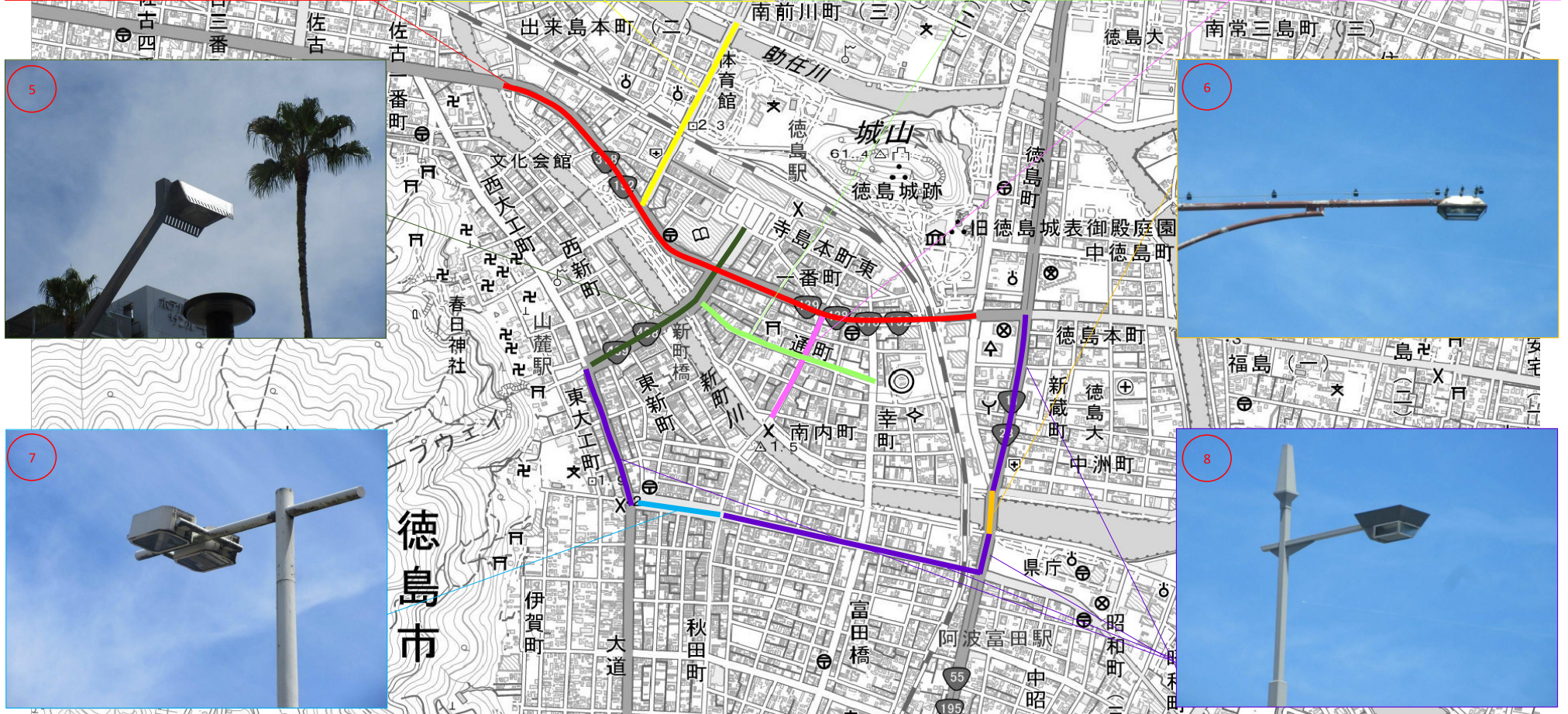
ナトリウム

8台



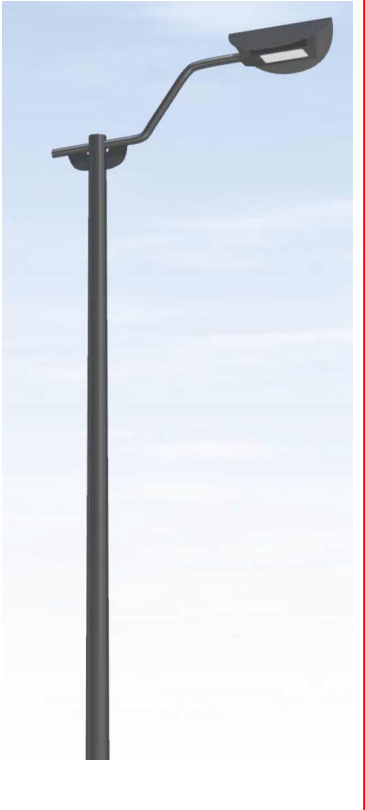


地理院タイル (国土地理院) を利用して作成

周辺の既設デザイン状況

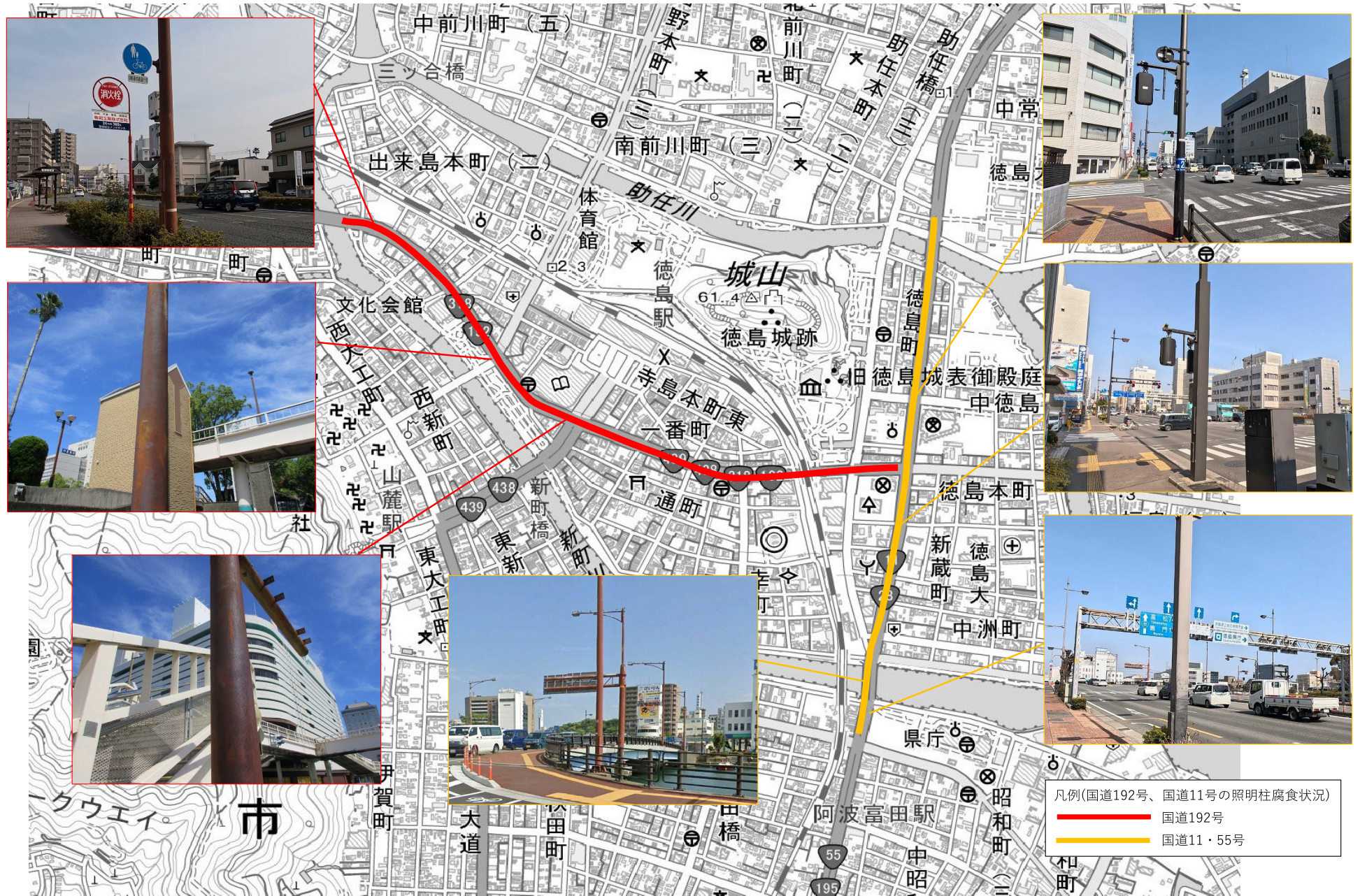


※地理院タイル（国土地理院）を利用して作成

道路照明デザイン案比較表

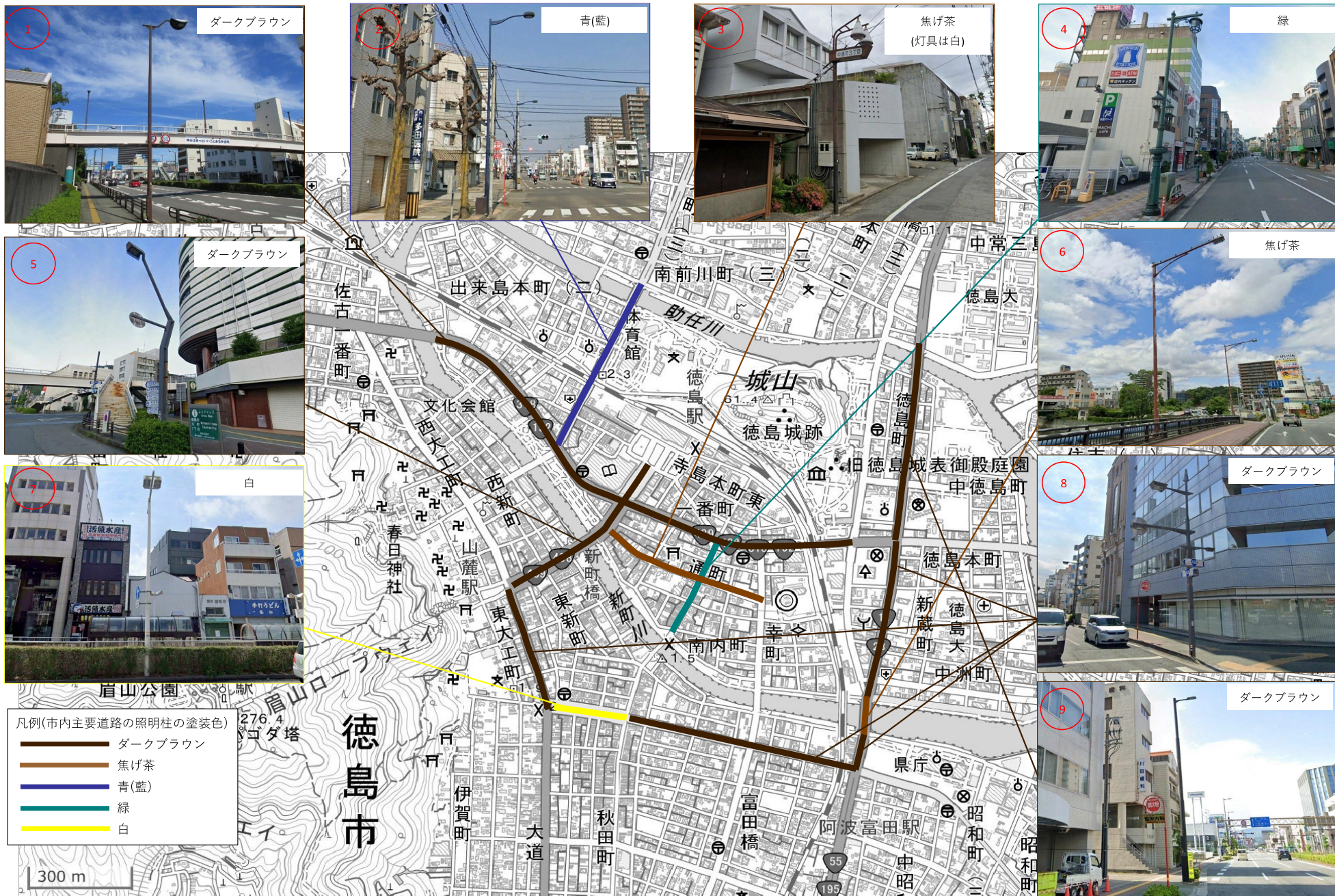
既設灯具タイプ	笠タイプ	丸形タイプ	角形タイプ	つり下げタイプ
既設灯具分類	①⑤	②	⑥⑦⑧	③④
外観サンプル				
製作	特注	特注	特注	特注
特徴	周辺の既設灯具デザインと同様であるため、町並みに自然に馴染む ○	LED道路照明のためランプ部は丸タイプとならず、既設イメージとは若干異なる。 △	放熱構造が複雑な構造であるため高価となる △	横方向への配光特性が他案に劣るため、既設照明柱の他に照明柱の追加が必要となる ×
経済性（円）	900,000 ○	1,000,000 △	1,200,000 △	2,000,000 ×
評価	既設灯具同様の阿波踊りの笠をイメージさせるデザインで馴染みやすく、最も経済的となる案1を選定する。			

国道192号等の照明柱腐食状況



※地理院タイル（国土地理院）を利用して作成

徳島市中心部周辺の塗装色について



※地理院タイル（国土地理院）を利用して作成